

# 伝統医学の特質と現代的意義に関する一考察

生氣論の視点から

越智秀一（倫理研究所客員研究員）

## はじめに

本稿では、伝統医学のよって立つ立脚点は生氣論であるという視点から、まず伝統医学を論じる際に陥り勝ちな陥穽の一つである西洋医学／東洋医学の二分法の誤りを正して世界史的に伝統医学を捉えなおし、次にその知的性格の近代科学の手法に馴染まない側面である風土性と古典・伝承に規範を求める特質を検討したい。その上で現代における生氣論の展開として深層心理学や精神医学の流れを捉え、この流れと既存の伝統医学の本質的連関を明らかにして、この連関が近代科学が行き詰まりを見せ始めた現代社会において持つ、新たな意味を探っていくこととする。